

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	マルチエージェント・シミュレータ による社会秩序変動の研究	研究代表者名 (所属・職)	山影 進(東京大 学・大学院総合文 化研究科・教授)
-------	----------------------------------	------------------	----------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題は、社会科学とりわけ政治学に新しい風を吹き込む先進的な試みである。

社会変動についての数理的なモデルの作成はどの分野でも難しいが、それをパッケージ化して使いやすくし、その普及・啓蒙に努力した点は高く評価できる。

また、研究成果も随時公開され、新しい知見もあり、数理モデルを用いた思考実験の全国的な展開の可能性も十分読み取れ、学術創成研究費としての意義は十分にある。

しかし、過去の事実経過をまとめただけの結果の追認に終わる危険性、モデリングの宿命であるデータ入力の際に起こるデータ選択の恣意性、及びデータの単純化の問題は存在しており、これらについては今後の活用を通じ、検証しながら解決を目指すことが望まれる。